※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　商業科

教科	商業科	科目	原価計算	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「原価計算」　（実教出版）						
副教材等	「最新段階式　簿記検定問題集　１級　原価計算」　（実教出版）　他						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工場で製品を製造する際、製品１単位あたりいくらで完成するのかを集計するのが原価計算です。計算方法は注文生産や大量生産など生産形態により異なります。また、製品製造のムダを把握し分析する能力を養い、製品に製造に興味を持ってほしいと考えています。
遅刻・欠席などせず、しっかり授業についていきましょう。

２　学習の到達目標

原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解しているか。 原価計算、工業簿記の諸活動を計数的に把握し、的確に処理できる技術を身につけているか。	原価計算や工業簿記に対し自ら思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけているか。	原価計算や工業簿記に対する知識と技術の習得を目指した、意欲的な取り組みと実践的な態度を身につけているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原価計算の基礎	原価と原価計算 原価計算のあらまし 製造業における簿記 材料費の計算と記帳 労務費の計算と記帳 経費の計算と記帳	a: 製造業の特徴や原価の基本的な内容について理解している。 b: 工業簿記と原価計算の関係について理解し，適用される場面を思考・判断することができる。 c: 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習しようとする態度が見られる。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
	費目別計算	個別原価計算	a: 個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また，製造間接費の予定配賦および差異の処理について理解している。 b: なぜ，製造間接費は予定配賦するのかについて考え，具体的に表現する仕方を身に付けている。 c: 個別原価計算を行うための一連の手続きに関心を持ち，製造指図書への賦課や製造間接費の処理の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
		部門別個別原価計算	a: 部門別個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また，部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解している。 b: なぜ，部門別計算を行うのかについて思考・判断し，直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができる。 c: 部門別個別原価計算の学習に関心を持ち，製造間接費を部門ごとの予定賦課・集計・差異の処理を，自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
2学期	製品別計算・完成・販売	総合原価計算	a: 総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また，各種原価計算の方法の特徴について理解している。 b: 個別原価計算と総合原価計算はどう違うのか，等価係数とは何かについて思考・判断し，それを表現する仕方を身に付けている。 c: 総合原価計算の学習に関心を持ち，各種原価計算の処理を，自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価

※令和４年度以降入学生用

	製品別計算・完成・販売	工程別原価計算	a：工程別総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また,各種原価計算の方法の特徴について理解している。 b：なぜ，工程別計算を行うのかについて考え,適切に判断して学習を進めている。 c：本章の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
		総合原価計算における減損・仕損じなどの処理	a：減損の意味と，それが発生した場合の処理方法について理解し,月末仕掛品原価の計算ができる。また，副産物，作業くず，仕損品の意味と，それぞれが発生した場合の記帳方法について理解している。 b：総合原価計算における減損・仕損じなどはどのように処理するのかについて考え,適切に判断して学習を進めている。 c：本章の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
		製品の完成と販売	a：製品の完成と販売及び決算に関する基礎的･基本的な知識を身に付けている。 b：個別原価計算と総合原価計算の計算体系の違いをもとに,完成時の手続きや処理法について考えている。 c：製品の完成時及び販売時の手続きや処理法について関心を持ち,自分から進んでまとめたり,問題演習に取り組もうとする。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
		決算と本社・工場間の取引	a：製造業の決算の特徴について理解している。また，本社工場間の取引に関する基礎的･基本的な知識を身に付けている。 b：製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり,本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えている。 c：製造業の決算の特徴，本社工場間の取引の記帳について関心を持ち,自分から進んでまとめたり,問題演習に取り組もうとする。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価

※令和４年度以降入学生用

	製品別計算・完成・販売	標準原価計算	a: 原価管理を行う意義と標準原価計算の特色について理解し,標準原価の基礎的･基本的な知識と計算技術を身に付けている。 b: 実際原価計算の限界や，標準原価計算の原価管理における有用性について思考･判断し，それを表現する仕方を身に付けている。 c: 本章の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
		直接原価計算	a: 利益計画を行う意義と直接原価計算の特色について理解し,直接原価計算による損益計算書の基礎的･基本的な知識を身に付けている。 b: 全部原価計算の限界や，直接原価計算の利益計画における有用性について思考･判断し，それを表現する仕方を身に付けている。 c: 本章の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価
3学期	実力養成	原価計算の実力養成	a: 原価計算や工業簿記に対する知識と技術の習得に意欲的に取り組み､全商簿記 1 級、日商簿記２級に相当する実力がついている。 b: 原価計算や工業簿記に関する知識と技術を活用して，各種の計算表，仕訳,勘定記入等を的確に行うことができ、全商簿記１級、日商簿記２級に相当する実力がついている。 c:実力養成に向けて自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 グループワーク	学習状況の観察 グループワーク 相互評価 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度